平成２６年度**札幌医科大学保健医療学部公開講座（高校出前講座）が行われました**

６月２６日（木）、本校で札幌医科大学保健医療学部　教授　城　丸　瑞　恵先生による**札幌医科大学保健医療学部公開講座**が開催されました。

これは、札幌医科大学が平成１７年度から青少年の健康意識の向上や、保健医療への理解を深めるために主に札幌市内で行われていた公開講座が、今年度から本校でも行われることになったものです。

先生に公演前、本校生徒の質問事項をお知らせしたところ、内容を大幅に変更していただき当日は「看護職種の資格取得方法と役割･やりがいについて」と題して、約２時間の講演をしていただきました。内容は看護のみならず保健師や助産師・認定看護師や専門看護師に至るまでとても幅広くご説明をいただきました。実際の日常的な仕事（病棟看護師の１日）から、資格を取得するまでの流れ（看護師･保健師･助産師･認定看護師･専門看護師）や、先生が参加していらっしゃる海外での活動（JICA アフリカでの活動）についてまで、生徒にとってとても具体的で興味深い内容でした。参加生徒の感想の中で特に印象に残ったのは、実際に大学病院で看護師として働いている方の「看護師のやりがいについて」のインタビューについてでした。４名の方の言葉が載っていたのですが、４人とも異口同音に「看護･ケアを通して患者との関係が深まり、心が通じたとき」にやり甲斐を感じていると答えていらっしゃいました。

〈当日参加した生徒の感想〉

・今まで知らなかった認定看護師や専門看護師について学ぶことが出来て良かった。今後の進路を考えるうえでよい話を聞くことが出来た。（2 年女子）

・看護師の仕事は、患者さんの身体的な世話だけではなく､家族も含めた心のケアをしていることがよくわかりました。この講演を通して看護という職業に興味を持つことが出来ました。（2 年女子）

・私は助産師になりたいと思っていましたが、今回の講座に参加することでその意をより強くしました。もっと頑張って助

産師になりたいと思います。（１年女子）

・今回看護師のいろいろな資格取得に関する話を聞き、自分が志望する理学療法士の資格に関しても調べようと思いました。また、受験を考えている札幌医大に関することを聞くことが出来てとても良かった。理学療法士に関する講演も聴きたいと思いました。（３年男子）

・医療に関わる者は、患者さんだけでなくその家族の人生にも直接関わるのだということを、改めて実感しました。受験勉強に対する意欲･モチベーションが上がりました。今回の講演で、理学療法士になりたいとより強く感じました。（３年女子）

・自分も看護師として患者さんの人生の一部に関わり、自分自身も成長したいと感じました。（３年女子）